

平成27年9月議会で質問(自民党会派)

1. 三重県生活衛生営業指導センターの役割と活動について

Q 三重県では13業種が生活衛生同業組合を設置して、県民の日常生活に不可欠なサービスを提供しています。各都道府県に設置されている公益財団法人「生活衛生営業指導センター」は、生活衛生同業組合の衛生管理、不適切表示、バリアフリー等の研修や融資相談、経営相談にも応じており、指導センターの役割は多忙を極めていますが、予算削減による人員削減が業務に支障をきたしており、支援措置を講じられたい。

A 生活衛生指導センターは、生衛法に基づき衛生水準の維持向上や経営改善にも、指導的な立場でご指導をいただいております。生活衛生に携わる皆さんは、伊勢志摩サミットを控え、食品衛生や環境衛生面においても、地域を支える重要な存在であり、意見交換しながら県としても支援を考えていかなければならないと考えております。(鈴木知事)

2. 地域包括ケアシステムの取り組みについて

Q 高齢化時代を乗り切る地域包括ケアシステムの構築に向けた状況把握を終え、医師不足や現役看護職の不足など課題のある中、「看護職等人材確保法」が改正され復職支援の強化が図られ、看護職を離職時にナースセンターに届け出る制度が始まります。医療ニーズの高度化に伴う介護施設で働く看護職のスキルアップや復職支援時の研修等、ナースセンターの業務は、拡大されます。それに伴う人材確保の支援や復職支援のためサテライト等の設置も含めたナースセンター機能の充実を検討いただきたい。

A 疾病構造変化は、病院・診療所のみならず訪問看護ステーションや介護施設においても、体制強化のため研修は欠かせないものとなっています。

人材確保においては、センター職員がハローワークに出向いて連携して、無料職業斡旋を実施したり、「eランニング」を取り入れたオンデマンドによる研修など、看護職のスキルアップにつなげる取り組みを実施するため、三重県ナースセンターの体制強化を図る事とし、平成27年度地域医療介護総合基金を活用して取り組み強化を図っていきます。

(健康福祉部 佐々木医療対策局長)

3. 農業振興について

Q 政府が掲げる儲かる農業。農業・農村所得倍増計画では、6次産業化の流れの中で、農外所得として味噌やジュース・ジャム等、食品関連業者と連携した取り組みや、担い手の農地利用面積226万ヘクタール(49.1%)10年後には、80%まで引き上げる事で所得倍増を目指すといわれている。担い手の高齢化が著しいことから、年間150万円支給する青年就農給付金制度を拡充して10年間で40万人の若者農業就業者を見込んでいる。

- ① 農地中間管理事業は、1年目は、低調に終わり2年目の成果は?
- ② 農業生産力の強化に向けて、リーダー不在の事業申請に向けた地域の合意形成のサポートや地元負担金の軽減等、農地中間管理機構の役割は?
- ③ 人・農地プランの作成には、多面的機能支払いや経営所得安定対策等関連制度に精通し、地域事情に対応できる人材が必要その人材の確保育成について?

A 1点目、中間管理事業の1年目は県・市町・JAと連携して取り組んできた。制度が十分浸透せず78.8haの集積に終わった。27年度は、400haを目標として、県出先に農地中間管理事業推進チームを立ち上げ、市町・JAの協力をいただき、集落ごとの説明や重点実施地域や意欲ある地域と連携して精力的に農地集積に向けた事業展開を図っています。

2点目は、農地中間事業と生産基盤整備事業を絡めた取り組みも実施する。ほ場整備の負担金は集積率による地域集積協力金やほ場整備による耕作者集積協力金等を活用し、地元負担金の軽減に努めていきたい。

3点目、農地中間管理事業を進めていく中、合意形成や気運醸成には、地域のリーダー的人材が必要であり人材の掘り起こし発掘についても鋭意努力してまいります。

(吉仲 農林水産部長)

4. 養殖漁業の振興について

Q 三重県の魚類養殖は、マダイを中心に県南部の主要産業として発展し漁業生産額の15%(70億円)を占めており、毎日安定した生活サイクルは、後継者も増えてきている。しかしながら魚価の低迷配合飼料の高騰など、魚類養殖には課題も多い、飼料コスト軽減に対する県の取り組みは?

A 魚類養殖における魚粉価格は、生産コストに大きく影響するため安定した飼料を求めて、米ぬかを20%~30%を混入した配合飼料により試験飼育を始めた。今のところ変わらぬ成果が上がっており期待をしている。

(吉仲 農林水産部長)

住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して



2016.02 第19号

前野かずみ県政レポート

発行 平成28年2月
発行者 三重県議会議員 前野和美
編集 和み会(なごみ)
〒514-1105 三重県津市久居北口町438-31
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606



ごあいさつ

梅の花も咲きほころび皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年の4月には、県議会選挙と知事選挙が行われ、おかげさまで私は、県議会4期目の当選をさせていただきました。皆様の期待や要望にしっかり応えてまいります。

鈴木英敬知事は、自民党の推薦を受けて見事に2度目の当選を勝ち取られ、その活躍は衆目の認めるところでございます。

自民党県議会は、同志県会議員の当選数(定数51人中、自民21人)が過半数に届かず、中央の政権与党の強みが生かしきれっていません。

そんな中、私は自民党三重県支部連合会の幹事長に就任いたし、県及び各市町の自民党への要望を一手に引き受け、国への要望窓口として頑張っております。

本年は、伊勢志摩サミットの大イベントと、参議院選挙が控えており、幹事長として、大きな目標達成に全力投球で取り組んでまいります。

「情熱」をもって取り組み、直ちに「行動」し「信頼」される議員で、ありたいとの思いで「現場で仕事をモットー」に今年も頑張ります。

さらなるご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

三重県議会議員 前野かずみ



住み良い街づくり、**和み**と活力ある三重県政を目指して、前野かずみは行動します。 **安全 安心 安定** ある三重県を目指して

地元要望にしっかりと対応してきました

須ヶ瀬地区は、ひとたび大雨が降ると雲出川から県河川赤川に逆流し、民家や水田・畑地に土砂やごみが堆積し大きな被害が出ます。

雲出川の改修が進まないと赤川の改修もままならない現状が在り、県道松阪久居線が赤川反乱により通行止めとなり法面が崩れ水田耕作に大きな支障と成っていました。地元要望を受け、県道の東側法面には、コンクリートを貼り裾に縁石を設置。西側は、水路を改修して歩道を新設して安全対策を講じました。1日も早い赤川の改修に向けて努力します。



一志美杉線待避所着手

下之川地区の皆さんから強い要望がある県道一志美杉線の2車線拡幅。八頭トンネルの開通以来車両の増加により、度々対抗車両のすれ違い時に支障をきたしており即効果を出すためとして16か所の待避所設置を地元と合意し27年度予算で実施をすることとした。皆様のご協力に感謝します。



大仰石橋土地改良区15年来の悲願 実現に向け動き出す

大仰石橋土地改良区は、雲出川にある農業用河川工作物の老朽化と人員作業による水利調整は高齢化に伴い大変危険な作業となっていました。土地改良区の役員さんと協議を重ねる事10年に及び改修をしなければとの結論に達しましたが、土地改良事業は地元負担金が25%程度ついてくる事から踏み切れずにおりましたが、東日本大震災後、防災減災に事業予算が組まれ、国事業の農村地域防災減災事業の要望活動を続けてきたところ25年度に採択され26年度測量設計が行われ事業着手にと繋がりました。これにより地元負担金は津市が10%を負担し、土地改良区は、負担なしで事業ができる事となり、27年度事業では、堰堤工事が動き出しました。



県道三宅一身田線整備状況

県道三宅一身田線のJR跨線橋完成により、本線工事を着工するにあたり地域住民を含めた関係者による現場で地元協議が行われました。豊里小学校の校門前を通る道路であり、安全・安心を基本に意見が出され、地元意向を含めた対策を盛り込む最終設計により、27年度完成を目途に工事が着工されています。



政策提言提出

自民党の政調会(4部会)と自民党会派・鷹山会派の三者により構成する友好団体要望聴き取り会では、7月から8月にかけて市町を初め各団体との意見交換を行ない要望を聴取して、政策提言をまとめ自民党三重県連、自民党会派、鷹山会派により鈴木英敬知事に対して28年度予算に盛り込むよう政策提言を行いました。



安倍総理一行(閣僚)神宮参拝に同行

安倍総理の1月5日神宮参拝が決まり、送迎が私の役目となりました。宇治山田駅12時13分到着、ホームで安倍総理と各閣僚を出迎えました。駅舎内に溢れるお迎え一人ひとりと握手をされて「おめでとうございます」と声をかけ、外で待ち受ける人々にも笑顔で手を振り政府専用車に乗り込まれました。私は、各大臣と共に閣僚専用バスで、外宮・内宮と参拝をしました。鳥居まえに並ぶ人達が握手を求め、安倍総理や閣僚に大きな拍手や歓声が上がり、安倍総理頑張るとの声援が飛び交い、新しい年明けと共に皆で頑張ろうという機運が満ち溢れていました。参拝が終わると、神宮司庁玄関前にて全員で写真撮影。宇治山田駅の貴賓室で安倍総理と対談し、伊勢志摩サミットや一億総活躍社会の事を楽しく聞かせていただき14時52分の近鉄特急で総理一行をお見送りしました。



県政報告&親睦旅行のお知らせ

前野かずみをご支援いただきます皆様には、常日頃大変お世話になりありがとうございます。前野かずみの政治活動を支えていくためにも、お一人おひとりとのつながりや前野かずみ本人へのアドバイスなど必要ですが、通年議会が取り入れられてから、時間も制約されております事から、親しく交流する機会を作ろうと、どなたでも参加いただける催しとして、「県政報告会&長島温泉観劇ツアーとお千代保稲荷参拝」を企画いたしました。是非ご参加の程よろしくお願ひします。

日時 平成28年6月6日(月)
場所 長島温泉・お千代保稲荷
出発時間 各地よりバスにて随時出発
参加申し込み(前野かずみ事務所)059-254-6605
担当者 坂本 修 090-4852-1059

